



武陽食品株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル
Tel. 03-3211-4831 Fax. 03-3211-6004

『武陽月報』は、武陽食品株式会社と株式会社J-オイルミルズが、酪農家・肉牛農家の皆様に役立つ情報をお届けするニュースレターです。

都府県育成牛頭数減少 家畜改良センター

独立行政法人家畜改良センターの発表によると、都府県において2歳未満の乳牛頭数が減少していることがわかった。副産物収入を目的とした黒毛和種の種付け割合(F1種付け率)が増え乳用牛の分娩頭数が伸び悩んでいることや、離農などによる農家戸数の減少が影響したものと思われる。

都府県の2歳未満の乳牛飼養頭数は、昨年3月の14万9,009頭をピークに徐々に減少しており、今年に入ってから前年を下回り、4月には14万2,091頭と前年比約4%減となった。

都府県では、2019年初めころからF1種付け率が上昇しており、性別別精液の利用拡大などによりF1種付け率の上昇が必ずしも乳牛減少につながる訳ではないが、要因の一つと考えられている。現在も、都府県ではF1種付け率が50%前後の高水準を超えて推移していることから、今後の生乳生産への影響が懸念されている。

5月生乳生産前年同月比1.9%増 ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)は、令和3年5月の生乳生産量は、66万9,904トン(前年同月比1.9%増)と前年同月をわずかに上回ったことを発表した。

地域別には、北海道は5月としては過去最高水準の37万トン(同2.5%増)となった。北海道の5月の地区別の道内生乳受託乳量を見ると、帯広の11万4,014

トン(同4.1%増)、中標津の7万4,236トン(同2.6%増)、北見の5万3,240トン(同2.3%増)などがけん引する形となっている。都府県も29万9,904トン(同1.3%増)と3カ月連続して前年同月をわずかに上回り、堅調に推移した。

生乳処理量を見ても、牛乳等向けは、34万8,527トン(前年同月比4.0%増)とやや上回った。このうち業務用向け処理量については、2万5,125トン(同33.3%増)と、新型コロナウイルス感染症の影響によって大きく減少した前年の反動で前年同月を大幅に上回った。

乳製品向けは、31万7,240トン(前年同月比0.4%減)と4カ月連続して前年同月を下回った。品目別に見ると、クリーム向けは、業務用需要が大幅に減少した前年の反動で5万8,434トン(同9.2%増)と前年同月をかなりの程度上回った。一方で、チーズ向けは3万8,938トン(同11.1%減)と前年同月をかなり大きく下回り、脱脂粉乳・バター等向けも、17万688トン(同1.5%減)と前年同月をわずかに下回った。

生乳生産量が順調な増加傾向にある中、乳製品の推定出回り量は前年の反動で前年同月を上回っているものの、引き続き在庫量は高水準で推移している。5月の期末在庫量は、バターが4万1,721トン(前年同月比13.5%増)、脱脂粉乳が8万8,803トン(同3.3%増)となっている。特にバターについては、年初からの緊急事態宣言発令およびまん延防止等重点措置適用が続いたことで、外食や観光業などによる業務用需要への影響が長期化している。

飼料のご用命は

武陽食品株式会社

飼料部宮城営業所 飼料部福島営業所

東北第一営業所山形出張所 担当

F 1相場5ヵ月連続上昇 ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)は、F 1(交雑初生牛)の6月相場が、前月比3万270円高(前年同月比0.2%高)の22万6,214円と5ヵ月連続で値上がりしたことを発表した。新型コロナウイルスの影響で急落する前の水準まで回復した。取引頭数は1万2,840頭で前月比267頭減、前年比566頭減となる。

F 1相場は、昨年7月までは22万円前後で推移していたが、新型コロナの感染拡大に伴う外食不振などで枝肉需要が冷え込む一方で、F 1の出回り頭数が増加したことなどが影響し、8月以降急落し10月には13万6,432円まで落ち込んでいた。その後、回復に向かい、今年2月以降は続けて上昇していた。競合する輸入牛肉の高止まりしていることや、上場頭数が減少していることも影響しているとみられている。当面は安定した相場が続くものとみられている。

5月牛肉輸入前年同月比0.8%減 ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)は、令和3

年5月の牛肉輸入量は、4万9,633トン(前年同月0.8%減)と前年同月をわずかに下回ったことを発表した。冷蔵品は、前年同月の輸入量が新型コロナウイルスの感染拡大に伴い北米の現地工場が稼働停止した影響により少なかったことなどから、2万2,568トン(同9.7%増)と前年同月をかなりの程度上回った。冷凍品は、前年同月に冷蔵品の輸入が不足したために、その代替として輸入量が多かったことに加え、豪州産牛肉の生産量減少や米国産牛肉のアジア諸国への輸出量の増加および米国の国内需要の増加による現地相場の高騰などから、2万7,062トン(同8.1%減)と前年同月をかなりの程度下回った。

5月牛肉生産量前年同月比0.9%増 ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)は、令和3年5月の牛肉生産量は、2万5,458トン(前年同月比0.9%増)と前年同月をわずかに上回ったことを発表した。品種別には、和牛が1万1,925トン(同1.5%増)、交雑種は6,395トン(同2.1%増)と、ともに前年同月をわずかに上回った。一方で、乳用種は6,717トン(同1.5%減)と、前年同月をわずかに下回った。

J-オイルミルズ

ファイバーフィード

乳用牛・肉用牛飼育用配合飼料

ファイバーフィードは、大豆皮を主原料とし、ペレット化した混合飼料です。大豆皮はND F含量が高いにもかかわらず、リグニン含量が低いので消化性が高く、高エネルギーです。高繊維、高エネルギーの原料である大豆皮をふんだんに使用した、ファイバーフィードはJ-オイルミルズにしかない、独自の飼料です。

夏場の飼料給与には、粗飼料の不足を補い、第一胃内の発酵の安定させる、ファイバーフィードをお勧めします。



| 成分 | 原物中 | 乾物中 |
|-------|---------|---------|
| 粗たん白質 | 14.0%前後 | 16.0%前後 |
| 粗脂肪 | 3.0%前後 | 3.4%前後 |
| 粗繊維 | 23.0%前後 | 26.4%前後 |
| 粗灰分 | 7.0%前後 | 8.0%前後 |
| カルシウム | 0.40%前後 | 0.40%前後 |
| りん | 0.15%前後 | 0.17%前後 |
| TDN | 65.0%前後 | 74.7%前後 |